

2022 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [八千代市立大和田南小学校] 担当教諭名 [谷脇 光] (6年1・2・3・4組 126名)

相手国・地域 [モルディブ]

海外学校名 [Thajuddeen School] 担当教諭名 [Mariyam Thihama / Aminath Zamra]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	世界とつながるアートマイル	40
	外国語	やさしい英語でSDGs(独自教材)	9

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	ジェンダー平等を実現しよう パートナーシップで目標を達成しよう
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	We believe that if countries work hard in hand, all the goals can be achieved. We are committed to work together to achieve the SDGs.



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 共通言語が英語だったため、既習事項を用い、自分の想いを一生懸命英語で発信しようとしていた。 英語で発信する際、相手国の児童に自分たちの発表をきちんと理解してもらおうとプレゼンテーションソフトやポスターセッションを活用し相手意識をもって活動ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手校との連絡が取りにくく、活発な交流ができなかった。 交流が滞っていたため、絵のテーマや内容について決定するのが遅くなり、絵の完成に時間がかかってしまった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ユネスコスクールの一員として活動できることや他国の子供たちとつながりが生まれることに対する喜びをもつ児童が増えた。 外国語科の授業において、海外の学校生活等を学習する単元で相手国の話が一番に出てくるなど、国や地域に興味関心をもつようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が相手国に興味関心をもてるように授業で話題にあげることを意識した。 ジェンダーについての課題が挙げられていたが、ジェンダーに対する意識や課題が相手国と日本とは異なり、それを児童にしっかりと落とし込む必要があった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	6月 ～ 9月	<ul style="list-style-type: none"> SDGsについて調べる。 モルディブについて調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 5年生までの学習からSDGsへの理解が深い児童が多いため、興味のある問題について熱心に調べていた。 	総合7
共有 相手と意見交換	10月	<ul style="list-style-type: none"> SDGsのゴール(5,17)を元に、自分たちでできることを考える。 活動の計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 最終目標である壁画完成のためにどのような内容を盛り込めばよいかを考え活動していた。 	総合3
融合 メッセージ作成	10月	<ul style="list-style-type: none"> SDG5にフォーカスし、身の回りのジェンダー問題を解決するための取組を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 気づきにくいだけで身の回りにはたくさんジェンダー問題があることを知り、意識を変えていくための取組を考えていた。 	総合8
創造 壁画制作	11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> 壁画の制作を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 壁画制作は児童が積極的に取り組んでいた。完成の直前まで、よりよいものにするために細かい修正や絵を追加し丁寧に描き進めた。 	総合10 外国語8
評価 振り返り 自己評価	1月 ～ 3月	<ul style="list-style-type: none"> 活動の振り返りを行う。 壁画の鑑賞をする。 最終報告を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分事として活動を進めることができていた。成果への達成感だけではなく、これまでの取組の反省についてもしっかりと振り返ることができた。 	総合12 外国語1

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	相手を知るために、モルディブの文化について調べ、まとめた。また、日本のことを紹介するためにも、日本や自分たちが住む市について調べ、理解してもらいやすいように伝え方を考えた。
主体的に考え行動する力	4	テレビ会議の際には、自分が伝えたいことを英語で表現するために試行錯誤しながら練習し、より理解してもらえるためにはどのような資料が必要か自ら考え、行動した。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	日本とモルディブでは、ジェンダー平等に関する課題意識や、課題に感じている部分が異なっているということが分かった。児童にとっては、異なる考えや課題について知り、再び考えるきっかけになった。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	5	テレビ会議では、英語を使って自分たちの活動について伝えたり、理解しやすいように資料を作成したりして円滑に活動が進められるように準備をした。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	互いの文化や目指すSDGsの目標を意識しながら、メッセージ及び壁画のデザインを考える姿があった。壁画の下描きの際は、多くの児童が壁画の制作を希望し、デザインを考えた。